

児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 4月 25日

事業所名 児童発達支援・ハイタッチ (職員5名による評価)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	活動量の多い利用者様の場合、どうしても活動スペース狭い、1Fのイス、テーブルを収納してフロアを広くとる工夫をしている。	適切な活動スペース確保のため、収納場所を常に確保する。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	介護度高い利用者様ご利用時は、可能な限りシフト調整して指導員の個別対応を図っている。	応援していただける人員を確保し、適時、事業所指導員として所内外の活動支援に入っていたりできるように、配慮し改善する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	建物自体は特設的なバリアフリー化は出来ていない。トイレ使用介助時など、利用者様には、トイレ壁面にもたれてもらう協力依頼をするなど適時、ご本人にも無理なく楽しく支援利用ができるよう工夫している。	トイレが狭く、介助時に指導員が苦勞することあり。将来的に手すりやトイレ内収納型簡易ベッド導入などで利用者様にも快適なトイレ利用を提供できるよう図る。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	2	毎日の業務終了時には、清掃後に除菌スプレー使用など、清潔な活動空間設定に特に留意している。活動やおやつ後のゴミ、シンクの生ゴミなど、残置することなく必ず処分するよう義務化している。	利用者様には、常に清潔な活動環境を提供させていただきよう配慮する。食事テーブルは食事専用とし、利用ごとに食卓用アルコール除菌剤を使用。来所時の検温では個別に体温計をアルコール除菌している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0	5	所内研修として昨年6月には「PDCAサイクルの実践」について学んだ。本年度は、PDCAサイクル具現化のための工夫など具体的に参画している。	目的の明確化と課題意識の顕在化、遂行方法の工夫を重ねて、職員一人一人が責任を持って、創意ある療育活動の遂行に参画できるよう事業所として取り組んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2(無答1)	2月末～3月初旬に、保護者様からの事業所評価表配布済み。3月～4月初旬にかけて回収と集計を実施した。結果を療育・支援業務改善の資とする。	事業所業務改善のために、集計結果を公表し、今後のさらなる療育業務改善のための資とする。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2(無答1)	本年4月25日に、ホームページ(フェイスブックにも順次公開予定)にて公開した。	当事業所の療育業務全般について広くご意見を仰ぎつつ、今後の療育活動進捗のための貴重な資とさせていただきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1(無答2)	本事業所立ち上げ時からお世話になっている、〇〇〇行政書士事務所の担当行政書士からのチェックしていただき評価結果を本事業所の業務改善に資する。	第三者機関からの評価を受けて療育業務改善に資する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	官制研修その他、自主的な研修参加について、事業所業務スケジュールの許す限り積極的な研修機会として確保している。	利用者様の在籍学校、学級の担任様との面談や、PT、STでの療育場面など、利用者様の療育ニーズは多様であり、できる限りの見学研修など設定している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2	児発管が中心となり、事業所全体の共通理解をめざしつつ、個々の児童発達支援計画を作成している。保護者様の署名済み2通を作成し、うち一通を保護者様が受領される。	アセスメントやモニタリング結果を保護者様と共有し、児発管の責任に於いて作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	滋賀県教委刊「特別な教育的支援を必要としている子どもたちへの教育的対応を求めて」(平成21年度)「幼稚園・保育所、小・中・高校・特支学校が対象」など利用して作成。	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課・滋賀県障害者自立支援協議会刊「平成30年度滋賀県サービス管理責任者および児童発達支援管理責任者研修」を基礎資料とする。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1(無答1)	児発管が中心となり、児童発達支援ガイド(滋賀県健康医療福祉部障害福祉課・滋賀県障害者自立支援協議会 共著)を基礎資料として児童発達支援計画を作成し、事業所全体の個別支援計画作成準備会議を経て、個別支援計画を作成している。	個人の心理・身体的な発達状況や社会性の発達、集団への適応状況、利用者様や時に保護者様を含めた困り感の状況など多岐多様な状況を事業所に共有する。療育課題の改善、遂行に向けて、事業所全体でのぶれない実践のための努力を重ねていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	2	日々、または適時に、スタッフミーティングで、計画の把握と共有、また直面する課題についてなど共有しつつ療育活動に取り組んでいる。	「継続は力なり」の職員共通認識から、利用者様も当所職員も共に力を合わせて楽しい居場所作りをしていくために粘り強い取り組みをしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3	月1回のペースで、普段なかなか行けない施設などへの所外活動を企画。 ※カップヌードルミュージアムの見学、体験等	職員が順番に企画立案担当にあたるが、全員で相談しつつ、適切かつ安全な楽しい行事を計画、実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3	「朝の打ち合わせ」に加えて、今年度より最低、月一回の職員会議を実施するようにした。この中で活動プログラムの開発、検証など業務上の義務として行う。	活動プログラムが固定化しないための創意工夫を重ねる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	1(無答1)	個別的な療育・支援と小集団での「スライムを作ろう」「シャボン玉遊びをしよう」「ホットケーキを作ろう」などや、利用者様全体での「京都防災センターに行こう」調べ、などしてきた	個別活動と集団活動相互の必要性を加味した個別指導計画の作成に当たる。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	「朝の打ち合わせ」では、できるだけ丁寧な療育・支援の打ち合わせや「ミニカンファ」で利用者様の療育・支援目標の理解、確認など共有化に努めている。	一ヶ月に一回程度の、利用者様の細やかな状況理解と、療育・支援目標を明確にしていくための「カンファレンス」実施予定。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	5	当日終業後に、適時、ふり返りを実施。ご様子の共有。利用者様の自宅お送り時に、事業所までのご様子など、連絡帳以外にお伝えすることもあるので、翌朝の「朝の打ち合わせ」でも行う。	前日の様子や、当日ご利用者様へのご配慮事項など、担当者が毎朝励行の「ミニカンファ」にて実施。日誌(ハイタッチ日誌)に児発管が記録している。要管理者確認印
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	3	日々のご利用者様には、ご家庭→当所、双方向記入での連絡帳を利用している。この記録や当所の個人用記録も適時とっている。	連絡帳は、事業所保管分が複写切り取りできる市販のものを利用している。保護者様にお伝えすべきことなど、適時電話連絡等でも行う。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0(無答1)	6ヶ月ごとのモニタリングを実施している。	モニタリング整理票は保護者様に2通をご署名頂き、双方で保管するようにしている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2(無答1)	極力そのようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1(無答1)	個別指導計画作成時には、極力連携できるようにしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2(無答1)	現在、当所での医療連携では、びわこ学園医療福祉センターとの連携的な取り組みがある。リハビリテーションとしてのST.O.Tの療育参観をさせていただき、当所療育・支援活動の資としている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1(無答2)	利用者様の医療機関や主治医との直接的な連携、連絡体制は現在のところ構築していない。実際には保護者様、特に母親様を通じての間接的な連携、連絡体制をとっており、日々の療育・支援活動を推進している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1(無答1)	昨年度、保育園や認定こども園年長児クラスに在園していた利用者様のご様子について必要時に保育参観させていただいてきた経緯がある。今年度は小学校・小学部の新入生であり、移行支援の取り組みとして本年1学期中に必要時、学級訪問等実施の予定。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1(無答1)	小学校支援学級・小学部に新入学の児童の場合、1学期中に必要に応じて移行支援のための学級参観など依頼し、実施する。ふたは、学級へのお迎え時など、担任様との連携・連絡、情報交換などできるだけ密に行うよう意図し、配慮している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1(無答1)	ご利用者様のため、また保護者様の、より良き生活や便宜性向上のため、保護者様のご相談を聴き、必要時に市内〇〇総合支援センター、市・県障害福祉課、大津 高島子ども家庭相談センター等での助言等を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4(無答1)	事業所地域の「夏まつり」のご招待をいただき、利用者様・職員が楽しく参加するなどできた。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3(無答1)	事業所全体として、現在、特に積極的には参加できていない。	
保護者様への説明	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0(無答1)	利用者様の送迎時、特に終業後の自宅お送りの時に、その日の様子や最近の様子など保護者様との情報交換やお知らせ、また聞き取りなどをさせていただいている。切れ目なく利用者様の状況や課題解決に向けての共通理解を目指している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2(無答1)	必要時に「共に育つ、育てる」の観点で実施している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0(無答1)	ご契約時に、できるだけ丁寧に実施するようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0(無答1)	常にそのようにしている。	

明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0 (無答1)	必要時に行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3 (無答1)	十分には出来ていない。	
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0 (無答1)	出来得る限りの対応をさせていただいている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2 (無答1)	十分には出来ていない。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	十分に配慮してきたが、今回評価での反省点があった。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	本務であり、常に第一に配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3 (無答1)	十分には出来ていない。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0	4 (無答1)	ハイタッチ消防計画(防火管理規定)届け出済み。消防用設備等(特殊消防用設備等)検査済み。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、作成済みにて、今後は保護者様への周知を行う。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	5	今年度実施予定。		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4	1	十分に把握でき得るよう配慮し、保護者様や学校からの情報も得るようにしている。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	母親様など保護者様からの聞き取りを特に丁寧に行っている。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0 (無答1)	「ヒヤリハットノート」を作成し、記入や閲覧、防止策など検討している。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1 (無答1)	職員の研修機会を確保して理解と防止に当たっている。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	3 (無答1)	本項目は、所内検討会議の結果、当所において非該当とした。		

保護者様等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 4月 25日

事業所名 児童発達支援・ハイタッチ

保護者様数(児童数) 6 回収数 5 割合 83 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1	1	1	・少し狭いような気はします。 ・もう少し広いスペースがあればより良い。 ・実際の活動をあまり見ていないので、実情についてはよく分からない。(以下、同様)	1Fと2Fの使い分けなど、まず安全に配慮しての課題別活動を設定し、利用者様の療育・支援業務の効果的な進捗を図ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0	1	子どもに対する職員の方の数は適切ですが、専門性は分かりません。	柔道整復師、児童指導員資格者、保母、教員等経験者(保母、教員免許、養護学校専修免許所有者)等、基礎的に専門性を有しています。今後共、職員一丸となって利用者、保護者様にお応えします。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	1		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	2	0	1	その日に何をしたり、どういう目的で、という部分は分かりにくいかもしれません。事前に分かっていると子どもも安心して行けるかもしれません。	ご利用日の連絡帳や、「ハイタッチだより」お知らせ(LINEなど含む)等にて、必要時など事前に取り組む内容のお知らせを致します。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	3		
保護者様への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	2	0	0		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3	0		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	0		

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	0	3	私が知らないだけかもしれないです。	ホームページやフェイスブック、「ハイタッチだより」など含めて今回評価の結果をお知らせ致します。今後の療育・支援目標達成のための貴重な資と致します。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	0	0	3	まだ行っている回数が多いのではないかと、当たってないのかも知れませんが、分かりません。	今年度は「地震」「地震と火災」など、年3回実施の予定です。その際に左記策定済みのマニュアルの周知をさせていただきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	1	0	4	・同上です。	・同上です。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	1	0	行きしぶりがあり、悩んでいます。回数が少ないからだと思いますが、無理をさせるのもいけないし、様子を見ようかと思っていますところ。・行くことを前日から楽しみにしています。	今後とも利用者様の状況に寄り添いつつ、行きしぶりの状況変化を目指して、支援を継続して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	・母としてはとてもありがたく大切な支援と思っています。	今後とも利用者様のより良い居場所作り支援と、保護者様ご安心のための支援を目指して尽力して参ります。